

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-142	23-060	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Associations between Gender Expression, Protective Coping Strategies, Alcohol Saliency, and High-Risk Alcohol Use in Post-Secondary Students at Two Canadian Universities カナダの2大学の中高等教育修了後の学生における性表現、保護的対処方略、アルコール顕著性、およびハイリスク・アルコール使用の関連性		
執筆者		
Bahji A, Boonmak P, Koller M, Milani C, Sutherland C, Horgan S, Chen SP, Patten S, Stuart H.		
掲載誌		
Int J Environ Res Public Health. 2024 Jan 18;21(1):107. doi: 10.3390/ijerph21010107.		
キーワード		PMID
カナダ大学生、性表現、ハイリスクのアルコール使用、防衛的対象戦略		38248569
要 旨		
<p>背景: 本研究は、2017年10月にカナダの2つの大学で実施され、性表現、保護的対処戦略、アルコール顕著性、高リスクのアルコール使用の関係を探ることを目的とした。</p> <p>方法: アルコールの摂取については、AUDITを用いた。これらの因子とハイリスク飲酒との関連を調べるために多変量解析を行った。性自認・表現については、Bem Gender Role Inventory、アルコール顕著性は、The College Life Alcohol Screening Scale (CLASS)、保護的対処戦略については、Protective Behavioural Strategies Scale (PBSS)を用いて調査した。</p> <p>結果: 2つの大学で18~25歳の参加者計3466人から回答を得た。回答率32.9%であった。BGRIでは、アンドロジナス(35%)が最も多く、次いでフェミニン(25%)、マスキュリン(22%)の順であった。AUDITスコアの結果は平均7.61、SD=4.74であった。ハイリスク飲酒とアンドロジナスな性役割(OR=1.58、95%CI:1.19-2.10)および自己申告の男性(OR=2.21、95%CI:1.77-2.75)との間に有意な関連があることが明らかになった。さらに、保護行動戦略はハイリスク飲酒と逆相関を示したが(OR=0.95;95%CI:0.94-0.96)、高いアルコール顕著性はハイリスク飲酒と正の相関を示した(OR=1.12;95%CI:1.11-1.14)。</p> <p>結論: これらの知見は、カナダのキャンパスにおけるハイリスク飲酒の減少を目的とした介入の開発と改良において、性別、アルコール顕著性の信念、および保護行動戦略を考慮すること。</p>		